



対談

悠久の歴史と湖が織りなすまち — 大津

子ども・子育て支援の充実
植本会長…さる5月1日、NHK教育テレビで「すくすく子育て」で、大津市男女共同参画センターの取り組みが放映されました。「幼い子ども2時間預け、自分一人でもどう過ごすか」ということでした。

佐藤市長…「子ども・子育て支援の充実」
ですが、まさにこの支援策の一環で、「子どもを守る仕組み」「子育て環境」を優先・充実施策で重要度の高い施策として考えています。

歴史まちづくり法
植本会長…それでは「悠久の歴史と湖が織りなすまち・大津」について本題に入っていきます。上位構想として、「大津市市民憲章」、「大津市総合計画」とあり、その下に「大津市歴史文化基本構想」（2019年9月策定）が位置付けられています。

佐藤市長…それに加えて、令和3年度から令和12年度までの10年間の、「大津市歴史的文化維持向上計画」が始まりました。いわゆる「歴史まち計画」です。内容に入る前に、「大津市」の謂れについてですが、大津とは大きな津＝港

1日1人当たりのごみ排出量
2019年度
1位 長野県 …… 816 g (5年連続1位)
2位 京都府 …… 836 g
3位 滋賀県 …… 837 g
全国平均 …… 918 g

佐藤市長…まず、「大津市市民憲章」（昭和36（1961）年制定）に「大津市は四季に美しい琵琶湖の恵みをうけ、千数百年の輝かしい歴史に飾られています」として「豊かな文化財をまもりましょう」と掲げています。
大津市は古くより湖上交通の要として、また主要街道の宿場町として繁栄を極め、世界文化遺産である比叡山延暦寺をはじめとする神社仏閣など、数多くの歴史文化遺産が現在まで保存されています。さらに市域には伝統的な建造物群や集落の家並み、路端の石造物、鎮守の森、祭り、説話や伝承など、市民の暮らしの場にも様々な歴史文化遺産が溢れ、豊かな歴史文化を形成しています。しかし、こうした貴重な歴史文化遺産の喪失が危惧されています。そこで大津市における歴史文化遺産を長期的かつ計画的に保存・活用していくための指針として「大津市歴

大津市長

佐藤 健司

全国滋賀県人会連合会会長

植本 勇

対談日:令和3年7月12日
場所:大津市役所

「鑑明けて月さしいれよ浮御堂」(芭蕉 元禄4(1691)年、48歳、浮御堂内に句碑あり)

大津市の合併

昭和7（1932）年大津市と滋賀村合併、昭和8年膳所町、石山町と合併し、人口7万弱で「大津市」誕生。昭和26（1951）年坂本村、雄琴村、大石村、下田上村合併、昭和30（1955）年堅田町、瀬田町合併、平成18（2006）年志賀町合併。

大津市の面積：464.51km²
（滋賀県全体の11.5%）
大津市の南北の長さ：45.6km、
人口：34.4万人（滋賀県全体の24.5%）



「大津市歴史文化基本構想」より転載

植本会長…多忙の中、対談に時間を割いていただき、ありがとうございます。滋賀県下の市長・町長との対談を進めておられますが、今回は大津市に焦点を当てていきたいと思っています。

佐藤市長…よろしく願います。

植本会長…大津は滋賀県の県庁所在地として、滋賀県の中核的な役割を担っており、滋賀県にとって重要な存在です。今回は「大津の魅力！再発見」として「広報おおつ」に連載されていますが、『歴史まち計画 始動』についてお聞きしたいと思います。

Otsu is a town woven by eternal history and lakes. Otsu city is the prefectural capital of Shiga Prefecture, with a population of about 340,000 (Shiga Prefecture is 14 million). In Otsu city comprehensive plan basic concept, the principles of town development are (1) sustainable city management, (2) establishment of a mutual aid society, and (3) conservation, regeneration, and utilization of nature, history and culture. On the other hand, according to the SDGs efforts, the amount of waste discharged from Otsu city is 766g per person per day, which is low nationwide. In addition, N-HK featured an initiative to "leave a young child for two hours and spend time alone" in the enhancement of child-rearing support.

大津市総合計画基本構想（平成29年度～令和10年度）
植本会長…その前に、大津駅には「悠久の歴史と湖が織りなすまち・大津」と大看板が展開されています。

大津の歴史が大きなテーマになるかと思いますが、その前に「大津市総合計画基本構想」（平成28年2017年10月、告示第225号）について伺います。まちづくりの基本理念の三本柱は（1）持続可能な都市経営、（2）共助社会の確立、（3）自然、歴史、文化の保全、再生、活用を謳っておられます。

まず、（1）持続可能な都市経営ですが、私も現場の経営者ですから、財務はしっかりと見ています。これからの少子高齢化社会にあつては、収入（税収）面が減る半面、需要面の増加は避けて通れません。そこをどう折り合いをなしていくか、です。

「公」は最後の拠り所
“Public” is the last base
植本会長…次に、（2）の共助社会の確立については、やはり少子高齢化社会にあつては、特に東日本大震災後「公」だけが負担するのではなく、「民」も市民、企業等、それぞれが負担する社会を目指すことだと思います。

佐藤市長…大津市総合計画基本構想では、一人一人が自分のことは自分でやる、「自助・自立」の精神と社会的役割の自覚と責任をもって主体的に行動する社会を目指します、と謳っていますが、「公」は最後の拠り所であることを知っておいていただきたい。

ごみ排出量、市民の協力で滋賀県下で一番少ない？
植本会長…最近とみに話題になっています「SDGs」に話に視点を変えてみます。

「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」についてはいかがですか。

佐藤市長…基礎自治体の責務として「カーボン・ニュートラル」達成に貢献することです。太陽光などの再生可能エネルギーの利活用の推進と、廃棄物の減量と適正処理、適切な規制措置による循環型社会の実現に努めています。特に、ごみの量は、大津市の場合全国的にも少なく、1日1人あたり766gで



三井寺金堂（提供：三井寺）



大津宮復元模型（大津市歴史博物館：蔵）



琵琶湖疎水



大津港

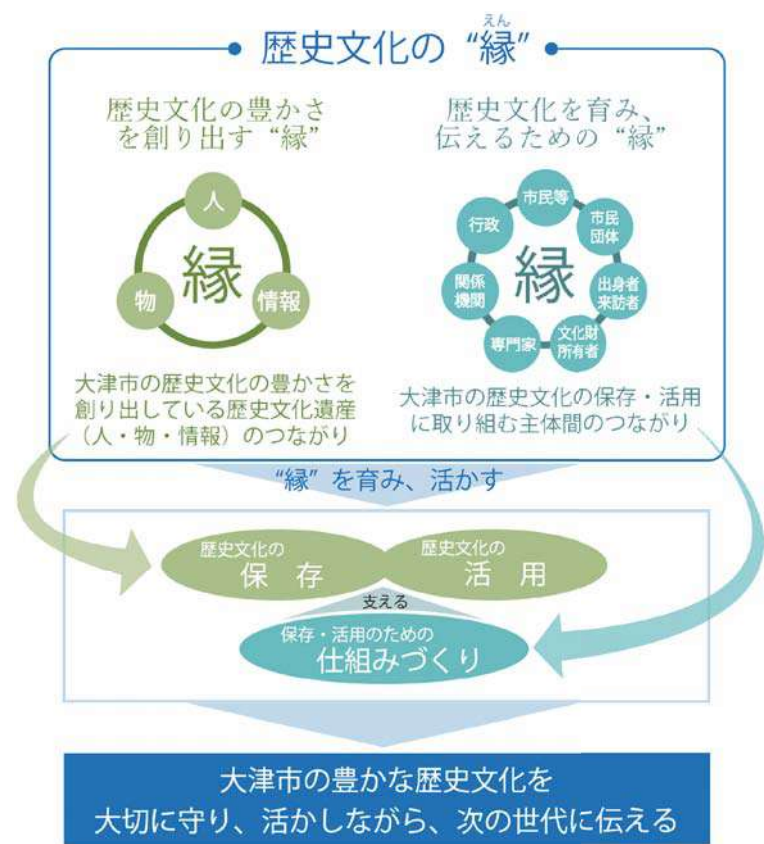
歴史を磨いていくこと
大津宮遷都——「歴まち」計画始動・
テーマ2—古都*
植本会長…大津市の歴史を縦覧していますと、歴史の「悠久さ」「深さ」「重み」を感じます。歴史の重みを感じるのは、天智天皇の「大津宮」です。
佐藤市長…大津の悠久の歴史を語るにあたり、「歴史を磨いていく」ことだと考えています。
 推古15（16年（667（668）の2度、推古天皇は遣隋使として小野妹子を隋に派遣し、帰国後大化改新に象徴される天智天皇（中大兄皇子）の政治に大きな影響を与えました。天智天皇6（667）年、中臣鎌足（藤原鎌足）の協力を得て、都を飛鳥から大津（現在の津市錦織2丁目周辺）へ都を移しました。近江令の制定、庚午年籍（最初の戸籍）、漏刻（水時計）

The place name of Otsu is derived from a large port. Otsu has a long history, when Emperor Tenchi moved the capital to Otsu in 667. He promoted political reforms that led to the Ritsuryo nation, such as making the first family register, installing a water clock, and blooming Buddhist culture. In addition, Otsu was a transportation hub, which was the route for goods from the eastern and northern countries to Kyoto and Osaka.

て積極的に行動し、支え合うまちづくりに努める先に、安全で心豊かに住み続けたいと思える理想の大津が築かれていく、と謳い、施策にも反映しています。

「縁」

大津市の歴史文化は各時代を通じて磨かれながら、大切に受け継がれてきたもの＝「歴史文化を育み、伝えるための「縁」」、を図表で示すと、主体は市民等、市民団体、行政、関係機関、専門家、出身者、文化財所有者、としています。



古都『大津』

- ①「日本書紀」に持統天皇6（692）年、天智天皇のことを「御近江大津宮天皇」が初見で1300年以上前に既にこの地が「大津」と呼ばれていました。大津は北陸道からの荷物は琵琶湖を船で大津へ、そして陸路で平安京へ。江戸時代は幕府の直接支配を受け、「大津百町」と呼ばれ、東海道第一の宿場町として繁栄。その財力からはからくりの妙技と豪華な懸装品で知られる大津祭を生み出しました。
- ②古都とは古都保存法に基づく、10市町村の指定。京都、奈良、鎌倉、逗子、大津、天理、橿原、桜井、斑鳩町、明日香村。

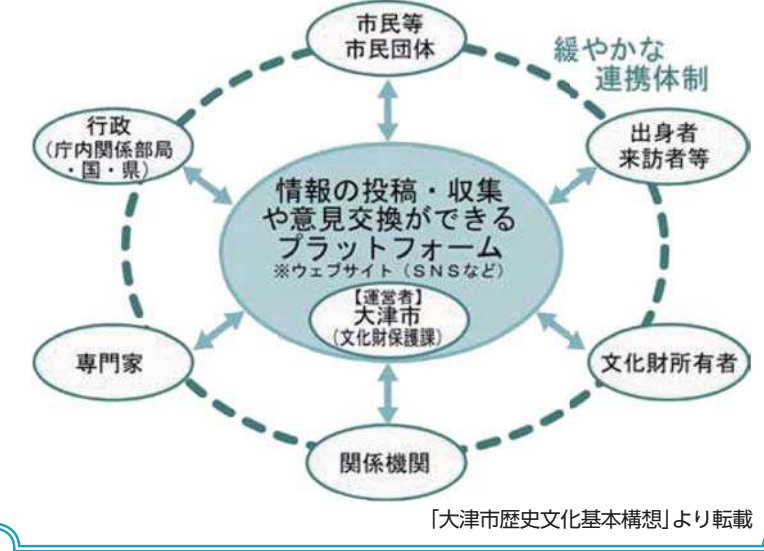


*「歴まち」計画（「大津市歴史的風致維持向上計画」）は「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（平成31年4月1日施行）に基づいて、「歴史的風致」の維持と向上を図るための設置、仏教文化の開花、など、大津宮はたったの5年間でしたが、律令国家につながる政治改革を進めました。

めの計画です。滋賀県では彦根市と長浜市とが指定を受けています。
 「歴史的風致」とは①歴史と伝統を反映した人々の営みと、②歴史的価値の高い建造物と周辺のまちが一体となって作られてきた良好な市街地の環境、を指します。そのため、単に歴史的な建造物があるだけでなく、建造物に関わる人々の営み、生活、活動も必要。

史文化基本構想」、さらに、国の施策として「歴まち法」が策定され、この3月、指定を受けました。
 こうした姿勢は大津市の最上位計画である「総合計画」でも「まちづくりの基本理念」にも「自然、歴史、文化の保全、再生、活用」が掲げられています。また「将来都市像」として「ひと、自然、歴史の「縁」で織りなす、住み続けたいまち、一人一人がふるさと大津を大切にし、大津再生に取り組む」と考えています。

「縁」
植本会長…「縁」という言葉が出てきますが、これには「言葉の重み」があると思われませんが、市長の考えをお聞きしたいのですが。
佐藤市長…総合計画では「縁」をキーワードとして、出会いを通じた「ひと」の「縁」、豊かな「自然」の恵みや悠久の「歴史」や「文化」の薫る都市で暮らすことの「縁」を大切にし、そのことで、自らも持てる能力を十分に活かす





延暦寺瑠璃堂外観 (提供: 延暦寺)



延暦寺根本中堂 (提供: 延暦寺)



日吉大社



大津石積み

交通の要衝
―「歴まち」テーマ1「港町・宿場町」
 植本会長…西教寺ではわが社の社員教育を行っていました。また東国・北国から畿内への物資輸送についても、大津は重要な位置を占めています。
佐藤市長…平安時代から琵琶湖を経由するルートが中心であり、大津は琵琶湖水運の中核的港湾機能を果たしてきました。

「歴まち」テーマ2
―仏教の古刹への信仰
佐藤市長…また、古代仏教でも展開が見られます。**延暦寺・園城寺（三井寺）**・石山寺は日本を代表する古刹であり、国家を護る寺として皇室はじめ貴族・武家から崇敬を受け、日本仏教史に大きな足跡を残しました。保良宮造営には石山寺が鎮護の寺と位置づけられ、比叡山は奈良時代より「神山」と呼ばれ、「古事記」には日枝山に大山昨神が宿ると記されています。また最澄は坂本本町生まれで延暦7（788）年比叡山山中で「根本中堂」の始まりを建立し、天台宗が成立。日吉大社は延暦寺の鎮守の地主神、天台宗守護の護法神でした。
 コロナ禍にあつて外出がままなりませんが、今こそ地域の歴史を知って、地域を体験する機会であり、市内の小学校などで「市内体験授業」、「他地域からの修学旅行の展開」を考えていますし、観光だけでなく、三井寺の宿坊を宿泊施設・座禅道場としても視野に入れていることです。

応仁の乱後、京都を支配した延暦寺
―歴まち・テーマ2
 植本会長…延暦寺の影響力は大きかったのでは？
佐藤市長…平安時代、延暦寺は朝廷や貴族の崇敬を得て宗教的権威としての地位を不動にしていたが、世俗の権力として朝廷に対峙していました。白河上皇は天下の「三不如意」（思うようにならない）として「賀茂川の水」「双六の賽」「山法師」をあげていたことは有名です。延暦寺に対しては融和策

た。延暦寺・日吉社の繁栄とともに、その門前に位置する坂本の台頭。水陸交通の結節点である坂本には金融業者である土倉や問丸（問屋）が軒を連ね、京都に通じる山中越えには輸送業者である馬借や車借が集住していました。一方、北の方の堅田は室町時代から戦国時代にかけて堅田惣庄と呼ばれ、侍、農業者、商工業者などが居住し、侍階層は大津や坂本に向かう船に対して湖上通行承認権を所持し、農業者や商工業者は日本全国を巡る商人でした。

新興勢力の台頭
 応仁の乱以降、なかでも大津と京都を結ぶ交通の要衝では新興の地侍が台頭し始めました。地侍の中には赤穂浪士で著名な大石内蔵助の先祖がいて、大石荘・龍門荘の有力な在地土豪でした。

延暦寺などの焼き討ち
佐藤市長…戦国時代、信長の近江支配では、山門焼き討ちで、延暦寺根本中堂や日吉社を焼き討ち。室町時代後期の特徴を持つ瑠璃堂は焼き討ち以前の姿を伝える稀有な文化財が残っています。信長は明智光秀に滋賀郡の支配を命じ、水城・坂本城を築きました。本丸は下坂本3丁目で発見されています。
大津城と大津百艘船
―「歴まち」テーマ1
 植本会長…この頃の大津は交通の要衝としての位置づけでは？
佐藤市長…最後の坂本城主となった浅野長吉は坂本城を廃城にし、京・大阪から通じる大津に新たな城を築きます。大津城主は公用を務めるため、坂本、堅田、木浜（守山）などから「大津百艘船」を組織。大津浦からの荷物や旅人の輸送を独占的に認める、特権を与え、百艘船を保護していました。慶長5（1600）年の関ヶ原合戦ではその前哨戦と言える籠城戦が大津城を舞台に繰り広げられ、東軍勝利の一因となりました。徳川家康は大津城に入り、戦後処理を。その後、徳川家譜代の戸

佐藤市長…大津市では「歴まち」の3つのテーマとして、①重要文化財などの建造物があること、②大津市全体の歴史的風致の維持及び向上につながる期待があること、③これまでも地域住民と行政の協働により地域の景観づくりに取り組み、今後も歴史的風致の維持及び向上が期待されること、の3つの条件を設定し、「堅田重点区域」「坂本重点区域」「大津百町重点区域」の3地区を指定。パンフレット型カード「歴まちカード」を発行し、歴まちの魅力を発信しています。

大社と神宮

建部大社

天智天皇の死後、大津宮の建物は壬申の乱で焼失。天平宝字3（759）年、政権の中心にあった藤原仲麻呂は瀬田川西岸の石山寺周辺に「保良宮」を建設しようとしたが、政権内部の対立で中止に。その後、律令制により各国に国府が置かれ、近江国府（大津3丁目他）の周辺には近江国一宮である「建部大社」が創建されました。



近江神宮

近江神宮は昭和15（1940）年、天智天皇を祭神として創建。



創建当初の近江神宮（大津市歴史博物館：蔵）

中世仏教と比叡山

日本仏教は中世においても、その展開に比叡山を中心に大きな足跡を残しています。まず比叡山の横川で修行した源信は『往生要集』を著わし、浄土宗の理論的基礎を築きます。その後庶民仏教として大成するのは法然・親鸞の時代。法然は『専修念仏』を、法然の門下生・親鸞は『悪人正機説』を打ち出して浄土真宗を開き、栄西は臨済宗を、栄西の門下生・道元は曹洞宗を開きました。日蓮は比叡山や鎌倉などで遊学し、日蓮宗を開きました。鎌倉時代に成立した新宗教は室町時代になると、大津や堅田で様々な展開が見られます。一方、天台宗では真盛が新たな教義を打ち出し、西教寺を復興させました。



西教寺本堂 (提供: 西教寺)

三井寺の謂われ

三井寺の名称は天智天皇、天武天皇、持統天皇、三天皇の誕生の際に、御産湯に用いられたという「霊泉」があり、「御井の寺」と呼ばれていたことに由来します。御井戸は現在、金堂西側にある「閼伽井屋」とされています。



閼伽井屋



歌川広重「近江八景」

歌や俳句、物語の舞台・大津

万葉集・柿本人麻呂

「淡海^{あふみ}の海 夕波千鳥 汝が鳴けば 心もしのに 古思ほゆ」

Plover skimming evening waves on the Omi Sea, when you cry so my heart trails pliantly down to The past. (リービ秀雄訳)

後撰和歌集・蝉丸

「これやこの 行くも帰るも別れつつ

知るも知らぬも あふさか(逢坂)の関」

So this is the place! Crowds, coming going meeting parting those known, unknown-the Gate of Meeting Hill. (P.J. Macmillan)

この他、歌枕として「逢坂山」「真野の入江」「滋賀の里」「三井(寺)」「打出浜」「粟津」「石山(寺)」「瀬田の橋」があります。また、小野道風や大伴黒主は近江の豪族の系譜に連なっています。

さらに「王朝文学」では石山寺の存在は大きい。観音霊驗地として平安貴族の女性は石山寺に参詣し、清少納言は「枕草子」で「寺は石山」と。また紫式部は石山寺に参籠し、「源氏物語」の構想を練り、須磨、明石を執筆しています。本堂には「源氏の関」があります。



石山寺本堂源氏の関(提供:石山寺)

芭蕉

「病雁の 夜寒に落て 旅寝かな」

堅田で病に臥した芭蕉の、堅田落雁を意識して。

源平争乱を描いた「平家物語」

「粟津における合戦」と「木曾義仲・今井兼平の最後」

「太平記」

堅田を舞台にした、新田義貞の悲話。

「能」

粟津の合戦や義仲に伴った巴御前の物語を「兼平」や「巴」の題材に。また大津を舞台にした「三井寺」。

歌川広重「近江八景」

「堅田落雁」(浮御堂)、「三井晚鐘」、「比良暮雪」、「唐崎夜雨」、「粟津晴嵐」、「瀬田夕照」、「石山秋月」、「矢橋帰帆」

1986年に合併会社を設立、その後平和堂も進出しました。大津市はいかがですか。

佐藤市長…黒龍江省の牡丹江市と姉妹都市関係にあり、40年近くになります。

植本会長…長い時間お付き合いいただき、ありがとうございます。最後に、全国の県人会の皆様にもメッセージをいただければ、と思います。

佐藤市長…県人会のネットワークを通じて大津市に関心をもっていたとき、大津市の魅力をさらに知っていただければ。琵琶湖の風景は住んでいる者には当たり前の風景ですが、移り住めば、このすばらしさを感じます。また、大津市の「ふるさと納税」にも協力していただければ、と思います。ありがとうございます。

佐藤健司(主なプロフィール)

平成8年3月 同志社大学法学部法律学科卒業

平成8年4月 NHK(日本放送協会)に記者として入局

平成16年1月 大津市議会議員(二期)

平成23年4月 滋賀県議会議員(三期)

令和2年1月 第24代大津市長就任



船幸祭(提供:建部大社)



山王祭宵宮落し神事

大津三大祭「歴まち」テーマ3

植本会長…大津には代表的な祭りがあ

江戸時代の大津百町

佐藤市長…江戸時代、大津は江戸幕府の直轄地となり、宿場町、港町、園城寺の門前町として栄え、100か所の個別町があり、「大津百町」と呼ばれました。元禄4(1691)年には18,774人を数え、東海道筋屈指の都市でした。大津が東海道の宿場に指定されたのは慶長7(1602)年頃と推定され、2軒の本陣と1軒の脇本陣があり、多くの旅籠屋がありました。また北国海道(西近江路)の分岐点でもありました。

田一西^{かずあき}が城主となるも、城は再建されず、新たに膳所城が築かれ、膳所藩が置かれました。

膳所藩政の展開

膳所藩は慶長6(1601)年に戸田氏が膳所城を天下普請として諸大名に号令して築いた城の第一号。立藩(3万石→6万石)。藩主は代わるが、慶安4(1634)年本多氏になり、明治3(1870)年廃城の太政官布告で解体まで続くこととなります。初期の膳所藩では藩主の庇護により膳所焼が焼かれ、茶入や水指に優品を残しています。



「近江八景図屏風」に見える膳所城(大津市歴史博物館:蔵)

「歴まち」テーマ1 一堅田藩の成立

元禄11(1698)年に堀田正高が下野佐野から近江の滋賀郡と高島郡に移され、堅田藩が成立。石高1万石であったため、中世の堅田地侍につながる郷土を役人に登用。その後堅田藩は佐野藩の飛び地となりました。



堅田の街並み(「大津市歴史文化基本構想」より転載)

佐藤市長…春の山王祭、夏の船幸祭、秋の大津祭があります。山王祭は日吉大社の祭礼で3月第一日曜日の神事から4月15日まで続きます。船幸祭は建部大社の祭礼で、祭神日本武尊が景行天皇の命で東国征伐の際、船団を組み、海を渡った故事によりあります。8月17日神輿が瀬田川を下ります。大津祭は天孫神社の祭礼で10月第二土曜日を宵宮、翌日曜日が本祭です。

滋賀県庁

植本会長…県庁が大津にありますが、その経緯は?

佐藤市長…慶応4(1868)年には大津代官所の支配地は政府直轄地となります。その後、大津県が成立し、明治5(1872)年には滋賀県となります。そして江戸時代以来、宿場町、港町と

歴史に登場する文化

植本会長…悠久の歴史文化にもう一度戻りますが、歴史に刻まれた「歌」や「俳句」を紐解くと、有名な歌や俳句、物語が登場しますが。

佐藤市長…「万葉集」の柿本人麻呂、後撰和歌集の百人一首など有名です。江戸時代には松尾芭蕉を中心とする俳人が作品を残しています。物語の中でも大津が出てきます。

植本会長…大津の歴史文化をあげれば、きりがありません。ここで、対外関係をお聞きます。滋賀県と湖南省とは姉妹都市関係にあり、私の会社も

して繁栄した大津は滋賀県の県庁所在地となります。明治22(1890)年に市町村制が導入されると、大津町成立。明治31(1899)年市制で、全国で48番目の市として誕生。